

令和7年度 建設局 優良工事等 公表案件

【件 名】	野川整備工事（その202）		
【工事場所】	東京都世田谷区玉川三丁目地内から同区鎌田一丁目地内まで		
【工 期】	令和6年2月19日から令和7年2月10日まで		
【受注者名】	株式会社瀧澤建設	【主たる技術者名】	現場代理人 赤池 朝尚 監理技術者 高橋 裁也

【概要】

多摩川の支川である野川の最下流部（吉澤橋～新井橋）において、多摩川からの背水（バックウォーター）の影響による水位上昇に対応するための護岸整備事業（護岸・橋梁部の嵩上げ事業）を行っています。今回工事は、吉澤橋及び吉澤橋下流左岸の約100m区間において、アクリル防水壁などにより護岸等の嵩上げを行う河川事業です。

【表彰理由】

配置技術者は、現場状況を熟知し知識と経験を生かし、事前ボーリング調査結果により地中の支障物が判明し、場所打杭の施工が困難となった際には、迅速に検討し、現地に即した直接基礎を提案するなど、現況把握と対応策の提案に優れていた。また、当初、撤去する既設護岸は無筋コンクリートと想定していたが、鉄骨(等辺山形鋼)を含む有筋構造物であった。これに対して技術力を発揮し、住宅地での施工であることから、騒音・振動に配慮し、静的破碎工法であるバースター工法を提案し、苦情なく確実に撤去工を行った。



既設護岸壊し



完了（下流から）



変更直接基礎



完了（上流から）